

8月



## 2018年8月 やいろ鳥の会 (第143回) 活動と例会のご案内

やいろ鳥の会 会長 坂本 勲  
HP <http://khj-yairo.org/>  
E-mail ja5cin@arion.ocn.ne.jp

8月26日の親講座は

京都ライフアートの山田孝明氏

テーマ: 友よ共に未来を生きよう

やいろ鳥の会創立13周年記念ワークショップ

会場 東部健康福祉センター3階和室

時間 午後1時半から午後4時半

電話 088-882-9391 / 高知市葛島4-3-3

時間 午後1時半から午後4時半

シンガーソングライターと京都の若者たちも参加

### 農福連携シンポジウム

時 8月9日木曜 13:20—16:00

所 土佐あき農協3F大ホール

障害を活かして就労するための地域  
連携と相互理解がひきこもりの就労  
に何をもたらすのか。

安芸市幸町1-16 / TEL 0887-35-1016

今年の暑さはなんとしたことでしょうか。野菜の値段も高騰していますし、このまま温暖化が進めばどうなるのか心配ですね。

現在高知県では安芸のモデル事業としてスタートした農福連携が注目されています。発達障害でひきこもる若者と人手不足で困っている農業の連携が始まっています。シンポジウムが8月9日に安芸市農協で開催されます。暑い中ですが就労の選択肢として勉強に行ってみてはどうでしょう。

### 同封パンフレットのご案内

不登校50年証言プロジェクト 半世紀にわたる「問題」を、いま問い直すというパンフレットは7月19日にフェイスブックに載せられたもので文字通り不登校の50年とひきこもりの関わりについて精神科医の斎藤環氏のインタビュー記事です。ひきこもりが社会の中で認識された時「専門家」も含めてどのような対応がされてきて、今どうなっているのかが簡略にまとめられています。

### 同封のやいろ鳥の会紹介パンフのご案内

高知市の福祉管理課からの提案でやいろ鳥の会の紹介パンフを作ってみました。ひきこもりで家族だけで悩んでいる人を少しでも少なくするために保健所、公民館、図書館、コミュニティーセンターなどに置かせてもらうようにしたいです。10部か20部くらい置かせてくれるところがあればお知らせください。届けに行きたいと思います。

### 要望書を提出しました

6月24日の全国支部長会議で提案された「ひきこもり実態調査及び支援施策の強化を求める要望

書」を高知県と高知市に提出しました。要望の内容は下記の5点です。

1. 県内ひきこもり支援関係機関のネットワークの構築及び社会資源としての家族会の活用について
2. 県内におけるひきこもり実態調査の実施について
3. 断らない相談支援及び、継続的支援の体制づくりについて
4. 訪問（アウトリーチ）支援施策の充実について
5. ひきこもり支援拠点（居場所、相談窓口）づくりの実施と充実について

この要望書は家族会本部が起草して各県支部にひな型として送ったものです。各支部はこの文章を基にして該当する自治体に要望書を提出するという計画です。

要望書に対する回答期限は8月31日としましたので回答によっては秋の議会で一般質問をすることになります。高知県と高知市は連携してさらなるひきこもり支援に取り組んでもらいたいです。

### 前回の親講座

7月の親講座にはKHJ 全国家族会連合会の伊藤正俊共同代表に来てもらいました。ひきこもりの解決を就労という事にするとうまく行かないこともあります。若者たちの心の準備ができれば就労も可能になるという事を親は心に留めておきましょう。決して就労したから何かが解決するわけではありません。勿論就労できるという事は自己肯定感を高めてはくれますがそれだけでは難しいものがあるようです。やはり、子どもの事を分かってやる努力を続けることが大切かと思えます。

親講座に参加した24名の方々の中から以下の感想が寄せられました。\*ひきこもった子供を認めてあげること。安心させてあげること。心のタンクに栄養を入れること。反省するのは大人であること。子供に対して大切な人として接すること。親が人として成長すること。人として向き合うこと。居場所に繋がりたいと思いました。\*子どもの年代に合った接し方や言葉を使わないと子供は成長していかないこと。\*ひきこもりの特性を活用した事業化にショックを受けました。\*最近では会話も増えたが心の底はまだ凍っているように思う。今日の講義でそれを少しずつ溶かしていくよう言葉をかけていこうと思います。いいお話でした。\*家族のつながりが大切だと思いました。\*長い間支援の現場にいる人の存在感がすばらしい。ひきこもりの人を治すという立場に立たないのがよいと思う。



ソーレでの親講座の様子  
突然、京都ライフアートの山田さんが飛び入りで参加されました。親講座の後に家庭訪問をしてくれてました。若者たちとも交流ができました。8月の親講座はよろしくお祈りします。

最近では葛島の東部健康福祉センターの会場が確保できない時がありますのでその時は旭のソーレを借りるようにしています。月例通信を確認しておいでください。

また、これからの親講座にどんな人を呼びたいですか。希望があれば会長まで知らせて下さい。

8月26日 日曜日の親講座は 京都ライフアートの山田孝明氏

やいろ鳥の会創立13周年記念ワークショップ

日時 8月26日(日) 13:30~16:30 会場 東部健康福祉センター3階和室

★13:00 開場

★13:30~13:40 事務連絡など

★13:40~16:30 講義と休息 質疑応答

テーマ 友よ共に未来を生きよう-----80-50問題を見つめて

京都の若者たちとシンガーソングライター楠木しんいち氏参加

駐車場が込み合うことがあります

やいろ鳥の活動カレンダー 今年の夏はホットですよ

- ◆8月9日(木) 農福連携シンポ とさ安芸農協にて
- ◆8月12日(日) 家族サロン(聞き役: 森木裕子氏/ひきこもり支援センター)  
午後2時から4時半 東部健康福祉センター2階研修室
- ◆8月26日(日)13:30--16:30 親講座 東部健康福祉センター 山田孝明氏他  
やいろ鳥の会創立13周年ワークショップ  
25日(土)午後はといろで親の相談会と懇親会を予定  
27日(月)は行政機関との意見交換と親の相談会を予定
- ◆9月9日(日) 家族サロン(聞き役: 森木裕子氏/ひきこもり支援センター)
- ◆9月16日(日) 親講座 大崎博澄先生 13:30—16:30 東部健康福祉センター
- ◆10月7日(日) 家族サロン(聞き役: 安藤里恵子氏/ひきこもり支援センター)  
午後2時から4時半 東部健康福祉センター2階研修室
- ◆10月28日(日) 親講座 松田先生 13:30---14:30 **ソーレ4階の和室**  
午前中10時から12時までは松田先生の個人面談です。

地域ひきこもり支援センターでの相談などについて

ひきこもりに関する相談はどなたでも月曜~金曜に県立精神保健福祉センター  
☎088-821-4966 又は ひきこもり地域支援センター☎088-821-4508 で受け付けても  
られます。庁舎は移転しましたが(移転先は高知市丸ノ内1-7-36 興林会館4階)電話番  
号は変わりません。お気軽に相談や個人面談を申し込んでください。車は県庁の駐車  
場に止めてください。面談の場合は先ず電話で予約をとってから訪問するようにして  
ください。(無料)

## 年会費の払い込み

現在は平成 30 年 8 月から平成 31 年 7 月までの年会費を集めています。

(家族サロンと親講座の会場でも未納年度分も含めて納入できます。)

振込先は 四国銀行 山田支店 (普) 0602101

全国ひきこもり KHJ 親の会高知県支部やいろ鳥 代表 竹中あおい

## 電話相談・メール相談 情報配信

随時電話相談をお受けしています。携帯 090-3184-8109(坂本)まで。

相談メールのアドレスは [Ja5cin@arion.ocn.ne.jp](mailto:Ja5cin@arion.ocn.ne.jp) です。どちらも無料です。また、全国家族会の資料・情報や視察・交流事業のタイムリーなお知らせを適宜配信しています。ご希望の方は会長あてにメールを送ってください。

## 募集中

高知市重倉の榊相愛での薪割作業又は南国市岡豊町の医大西側で木質ベレット詰め作業の監督をしてくれる親御さん。毎週金曜日の約 3 時間(11:00—14:00 又は 14:00—17:00)若者たちの薪割作業の監督と手伝い。ただし無給です。可能な方は坂本まで連絡して下さい。といろの中間就労事業の一つを榊相愛から業務委託されましたがその作業の条件が親が監督することです。どうかご協力お願いします。090-3184-8109(坂本まで)

.....お知らせ.....



といろの電話番号が変わりました。

**088-881-2350**